

平成 28 年度下半期 那珂市の財政事情

問い合わせ

財政課財政グループ

☎ 298-1111

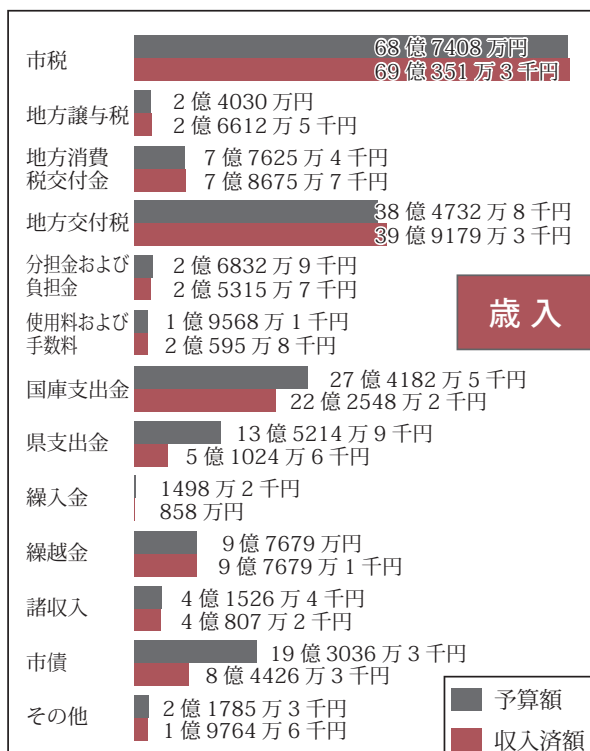
(内線 522・523)

◆ 一般会計

一般会計は、福祉や教育、土木などに係る市の基本的な経費を計上しています。

歳入では、県支出金の交付や市債の借り入れが事務手続きの都合で4月以降になるため、収入割合が低くなっています。歳出では、出納整理期間に支払われる予定のほか、翌年度に繰り越して行う事業があるため、支出割合が低くなっています。

※出納整理期間とは、会計年度末（3月31日）までに確定した債権・債務を完了させ、現金の未収・未払いを処理するために設けられており、翌年度の4月1日から5月31日までの期間をいいます

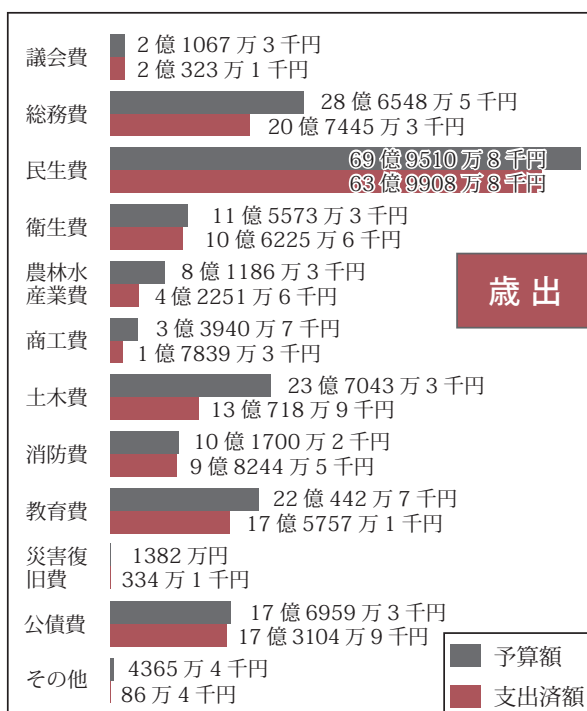


※その他…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、ゴルフ場利用税交付金、財産収入、交通安全対策特別交付金、寄付金

◆ 特別会計

特別会計は、特定の事業について、特定の歳入歳出により収支経理を行うため、一般会計とは別に設けている会計です。

歳入では、下水道事業などでの市債の借入れや一般会計からの繰入れ、国庫支出金の交付が、歳出では、公園墓地事業での一般会計への繰出しが、それぞれ事務手続きの都合で4月以降になることから収入・支出割合が低くなっています。



※その他…諸支出金、予備費

市では、市民の皆さんに市政運営の状況をご理解いただくため、毎年2回（9月末と3月末）、財政事情を公表しています。地方自治体では、最終的な決算額は5月末日に確定するため、今月号では3月末現在の予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。

会計名	予算現額 (A)	収入済額 (B)	支出済額 (C)	収入割合 (B)/(A)	支出割合 (C)/(A)
国民健康保険 (事業勘定)	67億7301万4千円	60億4154万7千円	60億4396万1千円	89.2%	89.2%
下水道事業	21億1940万6千円	7億6864万8千円	17億3079万6千円	36.3%	81.7%
公園墓地事業	1400万円	1134万2千円	288万4千円	81.0%	20.6%
農業集落排水 整備事業	9億481万4千円	2億7048万6千円	5億9742万9千円	29.9%	66.0%
介護保険 (保険事業勘定)	44億5952万7千円	43億6161万円	39億1975万8千円	97.8%	87.9%
上菅谷駅前地区 土地区画整理事業	1億3700万円	266万6千円	1億3367万5千円	1.9%	97.6%
後期高齢者医療	5億4663万1千円	5億4426万3千円	5億2923万4千円	99.6%	96.8%
合計	149億5439万2千円	120億56万2千円	129億5773万7千円	80.2%	86.6%



税目	収入済額	1世帯あたりの負担額	1人あたりの負担額
市民税	29億5709万1千円	13万2160円	5万3462円
固定資産税	31億1832万4千円	13万9366円	5万6377円
軽自動車税	1億5699万5千円	7017円	2838円
市たばこ税	3億9331万6千円	1万7578円	7111円
都市計画税	2億7778万7千円	1万2415円	5022円
合計	69億351万3千円	30万8536円	12万4810円

※世帯数2万2375世帯、人口5万5312人(平成29年3月31日現在)

◆市税負担の状況

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。なかでも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正公平な賦課徴収に努めています。

◆市債現在高

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関などから借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。

区分	平成28年 9月30日現在	平成29年 3月31日現在	増減
民生債	1933万7千円	1789万7千円	△144万円
衛生債	3億4729万6千円	2億8108万4千円	△6621万2千円
農林水産業債	1億3318万4千円	1億1345万6千円	△1972万8千円
土木債	7億2152万7千円	6億2181万7千円	△9971万円
河川債	6億9862万6千円	6億8724万2千円	△1138万4千円
都市計画債	20億4994万円	19億2487万2千円	△1億2506万8千円
公営住宅債	1億7838万3千円	1億4512万6千円	△3325万7千円
消防債	2億3031万6千円	2億2322万5千円	△709万1千円
教育債	21億3366万5千円	19億9432万8千円	△1億3933万7千円
減税補てん債	3億680万9千円	2億7774万2千円	△8926万7千円
臨時税収補てん債	2471万4千円	1655万8千円	△815万6千円
臨時財政対策債	94億8260万4千円	99億6387万8千円	4億8127万4千円
小計	163億2640万1千円	162億6722万5千円	△5917万6千円
下水道事業債	101億7586万4千円	98億2502万5千円	△3億5083万9千円
農業集落排水整備事業債	41億8361万1千円	40億9734万3千円	△8626万8千円
土地区画整理事業債	5億8344万7千円	5億4206万5千円	△4138万2千円
水道事業債	7億8322万1千円	9億496万8千円	1億6644万7千円
合計	320億5254万4千円	316億3662万6千円	△4億1591万8千円

◆一時借入金

一時借入金とは、会計年度中に収支の不均衡を生じ歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために一時的に借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。平成28年10月1日から平成29年3月31日までの期間においては、一時借入れは行いませんでした。

◆市有財産現在高

区分	平成28年 9月30日現在	平成29年 3月31日現在	増減
土地	178万718㎡	178万2395㎡	1677㎡
建物	16万6547㎡	16万6203㎡	△344㎡
有価証券	1339万5千円	1339万5千円	0円
出資による権利	7671万9千円	7671万9千円	0円
債権	2928万円	1876万円	△1052万円
基金	71億9776万2千円	80億2102万9千円	8億2326万7千円

※水道事業会計分は含まない

◆水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うことになります。

区分		予算現額 (A)	収入・支出済額 (B)	執行率 (B)/(A)
収益的 収支	収入	11億9483万円	12億603万5千円	100.9%
	支出	11億3840万4千円	10億6322万1千円	93.4%
資本的 収支	収入	4億8068万4千円	2億7436万5千円	57.1%
	支出	9億3079万3千円	6億4987万8千円	69.8%